

第 725 回 例 会

29年6月30日

本日のプログラム

- ・USJ例会（ゴング引渡し）
時間 18:00～
場所 USJ内レストラン「パークサイド・グリル」

次回(7月7日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 クラブフォーラム ①「委員会活動について」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」
- ・第1回理事会 13:40～ 4階「桐の間」

7月の例会予定

- ◎7日 クラブフォーラム
- ◎14日 卓話 北谷 会員
- ◎21日 夜例会(直前会長・幹事 慰労会)
- ◎28日 卓話 佐田 会員

先週(6月23日)の例会報告

■会長の時間

皆さんこんにちは。いよいよこの会場での会長の時間は最後になりました。次回は最終回で「ゴング引き渡し」をUSJ例会として開催させていただきます。会場のレストランではゆっくりお話しできませんので、本日「1年の振り返り」をさせていただきますと思います。

思い起こせば3年前でしょうか、当時の会長である久保田さんに副会長職を頼まれたのですが、その時の話ではこの1年は何も大きな予定はない、台湾さえ行けばいいと言われて安心していたのですが・・・まあ初めの半年間はいろいろと大変でした。会長としての難しさも痛感しました。個人としてならいくらでも思ったまま言えるのですが、それを会長が言ってしまうと重いものになってしまうので迂闊に言えない、そういうところが苦しかったですね。

今年度は「ロータリー精神の基本に立ち返り、変革にチャレンジしよう！」というクラブ運営方針のもと活動を開始しました。そしてまず初めに委員会構成を思い切って減らしました。ちょっと無理やりというところもあったのですが、やっぱりできるだけ委員会は少なくして会員の皆様が一つの委員会に所属する、という形のほうが委員会への所属意識が高まるので良いと思いました。目標とした委員会活動の活発化にはまだまだ時間がかかるようですが、まずい点は修正していきながら次年度もこの思いを継承していただければうれしいです。秋には久しぶりにチャリティバザーを復活させることができました。皆さんに持ち寄っていただいた品物を力を合わせて売りさばいたわけですが、なかなか楽しい一日でした。ロータリーXmasのチャリティとして今後もぜひ続けてほしいと思います。そしてUSJ例会も増やしました。前回はUSJ様からも参加いただき関係も深められました。他にはない我がクラブの大きな特徴ですので今後もできるだけUSJを活用していただければと思います。

残念ながら力及ばなかったことは「クラブの中期計画」の策定です。これについてはまだまだ議論半ばですので、次年度も戦略計画委員会のメンバーとして継続して策定に協力していきたいと思います。まずは会員の皆様のご意見をお聞きするためにアンケート調査を行いたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いします。

最後に大きな課題として残ってしまったことは出席率の問題です。出席したくなる魅力ある例会にしたいと目標にも掲げておりましたが、残念ながらそこに力を注ぐことができないままここまで来てしまいました。大変申し訳ないですがこの点は次年度に委ねたいと思います。どうかよろしくお願いします。

振り返るといろいろとありましたが、ここまで無事に会長としての勤めを全うできたのはひとえに会員の皆様、理事会メンバーの皆さま、戦略計画委員会をはじめとした各委員会メンバーの皆さま、幹事および副幹事、そして北阪さんのおかげだと心から感謝しております。1年間本当にありがとうございました。そしてやり残したことがたくさんあって大変恐縮ではありますが、次年度の龍岡会長と和氣幹事にあとを託したいと思います。ありがとうございました。

【来客紹介】 2名

【出席報告】

29年6月23日(第724回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
35名	1名	24名	10名	70.59%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕

1)卓話資料(冊子・レジメ)

〔メール送信〕

1)名簿確認のお願い(変更の回答期日 6/27・火) ⇒ 6/16 配信

ニコニコ箱(6月23日)

秋山 千尋 =森本会員のゲスト川瀬さんの臓器移植の卓話、楽しみにしています。
河田 英子 =学園の行事が嬉しく楽しく過ぎていきます！ 昨日は120名のこども達が泊まりました。かわいい寝顔でした
小林 知義 =いよいよ梅雨のシーズンになりました。ゴルフの時だけは降りませんように。
森本 良嗣 =川瀬様、今日はゲストスピーカーを快く引き受けて頂き、本当に助かりました。 よろしくお願ひします。
大屋 準一 =大谷さんより出席率のメールをいただきました。出席率向上に努力します。
本日は途中で退席させていただきます。
斎藤 清貴 =今日は沖縄の終戦日とも言われる「沖縄慰霊の日」だそうです。
川瀬様、卓話宜しくお願ひします。
鈴木 正明 =6月11日、京都 金戒光明寺に行ってきました。階段の昇りが辛くなってきました。
高野 幸雄 =今期最後の通常例会ですね。会長はじめ役員の皆様、お疲れ様です。
吉田 正信 =川瀬さん、卓話よろしくお願ひします。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 9000円	今年度合計 3975473円
---------	-------	-----------	----------------

卓話(6月23日)

「臓器移植法施行20周年を迎えて」 ゲストスピーカー 川瀬 喬 氏 (森本 良嗣 会員 ご紹介)

今回は、折角、臓器移植について話すよい機会を与えて頂いたのに、時間足らずで小生の説明が不十分となり、ご出席された方々に質問の時間もなく、大変ご迷惑をお掛けしました。お詫びします。

本年は臓器移植法制定から20年目の節目の年になります。この法整備によって我が国では長らく閉ざされていた脳死からの臓器移植が可能となり、2010年には同法が改正され、本人の意思が不明な場合には家族の承諾で臓器移植が可能となりました。

その結果、15歳以下の小児の脳死下での提供も実現し、ここ数年の臓器提供は年間50例を超える様になりました。

しかし、現実を見ますと移植待機者は13,400人(本年4月末現在)に比べ、死後の臓器提供者数(年間)が約100人(2016年実績では、脳死が64例、心停止後32例)、移植者数338人とは大きな隔たりがあります。現状では、腎臓移植で17年、心臓移植で3年以上の長期の待機が必要となっています。

また、18才未満の小児からの脳死下の提供は今まで僅か18例で海外移植に頼らざるを得ない状況が続いています。

この様に、脳死下の臓器提供が伸び悩んでいる背景には、専門家によると、法律が改正されても臓器提供施設での種々の課題が改善されないままであることが指摘されています。

また、2013年の内閣府による一般市民の意識調査によると、自分が脳死になったら臓器提供を望む人が43%いて、本人の提供の意思がある場合には87%の方がその意思を尊重します、としているにも関わらず、臓器提供件数が増えないことについて、富山大学小児科の種市尋宙(たねいちひろみち)先生は、昨年秋の講演(兵庫県主催、いのちの授業)で「日本人は世界から見ると変わった考え方でしょうか？日本人はエゴイストなんでしょうか？」と話され、日本人は死を忌み嫌い、語ろうとしないことがこの様な矛盾した行為、結果を招いているのではないかと。決して臓器提供に対して否定的な意見が多い訳ではない。ただ、命を取り巻く情報を知らないだけではないのか？」と述べられていたのが印象的でした。

提供件数が増えない理由の一つとして、行政、日本臓器移植ネットワーク、医療機関など社会のシステムに何らかの問題を抱えているからであり、それぞれの組織が十分に機能しているのか、現在、夫々の組織の在り方も問われているのも確かです。

この様な状況下、私たちの兵庫県では、移植医療の更なる発展のために、移植に関する各組織の連携と情報・活動の共有化、効率化を図ることが必須と考え、移植医療の関係機関・団体によるネットワークの構築を図ろうとの機運が高まっています。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか